

三浦光雅「思考の打算」

会期：2025年8月23日(土)～9月6日(土) ※日曜・月曜・祝日休廊

時間：12:00 - 18:00 / 場所：imura art gallery



三浦光雅《void》紙にアクリル絵の具, 841×1189, 2025

この度イムラアートギャラリーでは初となる、三浦光雅による個展「思考の打算」を開催いたします。

三浦は、カンヴァスや紙面に直線を機械的に描き重ねる〈void〉シリーズで知られています。構図・配色・線の配置といった、本来であれば作家の裁量が最も反映される要素を、フリーの乱数生成アプリケーションに委ね、あえて「判断の余地」を放棄する制作を試みています。その行為は一見すると極端に合理的ですが、描かれた線には、かすれや滲み、絵具の濁りといった予期せぬ痕跡が残され、結果として制御不能な揺らぎが画面全体に静かな生動感をもたらしめています。「描いているイメージに意味を持たせたくない」と語る三浦は、意味を排除するために計算や操作を自動化し、意識そのものの介在を最小限にとどめようとしています。

その冷徹なシステムの中でなお現れる色彩の層や筆致は、描かれたもの以上に、「なぜ描かれるのか」「描くとは何か」といった問いを静かに投げかけている。

本展は三浦が学び、作家として活動してきた京都での初めての個展となります。

これまでの軌跡に加え、本展のための新作における三浦の挑戦を会場でご覧ください。

三浦光雅／Koga Miura

◆略歴

1997 東京都生まれ、山口県出身

2021 京都芸術大学大学院 芸術専攻美術工芸領域修了

現在 京都市のプログラム「Arts Aid Kyoto」の事業認定を受け、
anonymous studio KYOTOを拠点に活動

◆主な個展

2025 「ある、ない、あった」ASTER Curator Museum 石川県
「Lines」ゼロベース神宮前 東京都

2024 「三浦光雅 個展」anonymous bldg 東京都
「surrender」SOM gallery 東京都

2023 「スローワーク」銀座蔦屋書店 東京都

2022 「come and go」DMOART 大阪府

◆主なグループ展

2024 「collective 2024」表参道クロッシングパーク 東京都
「grid」biscuit gallery 東京都
「polyphony」ARARIO gallery 中国
「humarishclud exhibitionn」humarishclub マカオ